

こらぼ大森イベント掲示板

2017年3月1日 発行

こらぼ de アート こらぼ大森がアートでいっぱいな2日間

○展示企画

こらぼ大森のご利用者や地域の方や子供たちの作品を展示します。(手芸・絵画・イラストなど)

日時：3月11日(土)・12日(日) 10:00~16:00 場所：こらぼ大森軽食コーナー他 参加費：無料

○講演会「下町ボブスレーいよいよオリンピックへ ~平昌オリンピック出場が決定!~」

出場決定までリードして来られた舟久保社長から、町工場のカ・ネットワークについてのお話を伺います。

日時：3月12日(日) 10:00~11:30 場所：こらぼ大森1階 多目的室 参加費：無料

講師：船久保利和氏(株式会社昭和製作所 代表取締役社長)

○ものづくり講座「これならできるDIY~ふすま・網戸の張り替えのコツ DIYのなんでも相談~」

日時：3月12日(日) 13:30~15:00 場所：こらぼ大森1階 多目的室 参加費：200円(材料代)

講師：周防幸男氏(DIYアドバイザー、達磨の会代表)

主催：こらぼ大森情報交流室 I (☎:03-5753-6560/mail:cbc10286@nifty.com)

アースフレンズ東京Zを応援しよう! 3月ホーム戦情報(大田区総合体育館 開催)

~プロバスケットボールの迫力を体感しよう!~

○茨城ロボッツ戦 11日(土) 17時~・12日(日) 14時~ ○バンビシャス奈良戦 17日(金) 19時~・18日(土) 15時~

問合せ先：☎03-6892-4343 mail info@eftokyo-z.jp (アースフレンズ東京Z事務局)

いろいろルーム畳表替えしました

体育館棟の工事が順調に進んでいます

こらぼ大森体育館棟工事の影響に伴いご利用者の皆様には、ご不便をおかけしております。

飲食も可能な「いろいろルーム」は畳替えも行いました。4月以降は、通常通りのご利用が可能となる見込みです。

こらぼ大森ボランティア募集!

ボランティアの「はじめの一歩」-出来ることから-

内容：お花の水やり イベントの準備

ニュースや冊子の袋詰め など

活動日：毎週木曜日

ご都合に合わせての調整も可能です。

申込み：右記連絡先までご連絡ください。

新開催! 女性のためのヨガ

しなやかな身体と心を整えます

日時：3月6日(月) ※4月以降第1・3月曜開催

10:00~11:00 (ヨガ) その後ティータイム有

会場：子ども交流センター 学童保育室

定員：15名程度 参加費：1500円(お茶代込み)

持ち物：動きやすい服装、ヨガマット or バスタオル

汗拭きタオル、飲料水

講師：加藤麻未 先生(ヨガスタジオ等で講師実績多数あり)

主催：こらぼ大森情報交流室 II (☎:03-3763-7314)

発行：こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX：03-5753-6560

E-mail：cbc10286@nifty.com

URL：http://collabo-ohmori.com/

住所：大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ 大森 第21号 ニュース

- 春の訪れを待ちながら
- LET'Sこらぼ 防災の知恵、出し合っておしゃべり
- こらぼ大森がくれた活動のきっかけ
- 本：場づくりの教科書
- 掲示板「こらぼdeアート」「女性のためのヨガ」など



春の訪れを待ちながら

暦の上ではもう春、窓から差し込む日の光にも温かさが感じられます。こらぼ大森の草花は、冬の寒風にも負けないで可愛いお花を咲かせています。園芸ボランティアの皆さんが大事に育てて下さいました。

花壇の隅っこには、都会ではちょっと珍しい蔦の臺(ふきのとう)も顔をのぞかせています。春の足音が聞こえてくるようです。

前20号「私の菊づくりは朝飯前?」にて鈴木信司さんを、NPO法人大田教育支援の会の「理事長」としたのは、「事務局長」の誤りでした。お詫びし訂正させていただきます。

Let's こらぼ



防災まちづくり研究会は、誰もが安心して暮らせる“防災力”と“受援力”を備える地域にするための学習会活動を行っています。

また、意見交換や講座実施などを自治会・町会や様々な団体と連携し、地域との交流を図っています。活動を行うにあたり大事にされている点などをご寄稿いただきました。

防災の知恵、出し合っておしゃべり

防災まちづくり研究会

高梨 輝美さん（防災センスコーディネーター）

もうすぐ東日本大震災から6年。周りの人に首都直下地震への備えを聞いてみると「自宅を耐震補強した」「食料の買い置きが充実してきた」という人がいる一方、「非常食を買っておいたはずだけど行方不明（汗）」「何から手をつけていいかわからない」という方も、まだまだ多い印象です。

一方、当会でも、「町会ぐるみでの助け合いを模索中」「いやいや、向こう三軒両隣で協力できれば十分だよ」「うちのマンションは管理組合が頼りないから、自分でなんとかしなきゃ」と、住まい方や年代、家族構成の違いでも会員それぞれの目指すところや課題は様々です。「こうすれば絶対安心!」という答えがなく、一人一人が自分なりの対策を模索しなければならない。そう実感しています。

2013年の発足以来、当会では月2回の定例会の他に防災学習施設への遠征や、町会へのヒアリング、区内の防災サークルとの交流などを重ね、「防災」と「まちづくり」への学びを深めてきました。そして自分たちが学んだ防災の知恵を町の皆さんと共有したいと思い、この3年間で20を超える防災イベントに企画や講師派遣、運営サポートなどの立場で関わってきました。

直近で、企画と運営協力で参加したのが、2月26日（日）にこらぼ大森で開催された防災イベントです。

当会では、「体験型」で「生活者目線」、参加した方が「自分に合った対策」を始めるきっかけになる企画を心がけています。これまでに保育園の父母会や小学校のサマースクール、町会やNPOなど、多方面から声を掛けていただきました。ふだんの生活では交流のない方も顔見知りになり、おしゃべりする時間が、また新たな学びになっています。これからもご縁を大切に、活動を続けていきます。

◎連絡先/tamotoy@gmail.com（事務局：田本）

◎活動の様子は大田区区民活動情報サイト

「オーちゃんネット」をご覧ください。



▲赤松小学校
夏休みわくわくスクールでの交流

▲非常用トイレに座ってみる園児たち

こらぼ大森がくれた活動のきっかけ

こらぼ大森情報交流室Ⅱ（愛称：おたオーガニックファーム）は、平成20年7月の開設から、おかげさまで9年目を迎えます。コーヒーやハーブティーなどを楽しめる喫茶、交流スペースとして、ご愛顧をいただいています。スタッフの店長は、曜日単位の日替わりで担当しています。当初からのスタッフの入れ替えはありましたが、何事も長続きするクセのある私は、“木曜日店長レジェンド”と一部評されながら、こらぼ大森とのご縁が続いています。

スタッフとしてのお仕事は、カフェ業務、事務作業はもちろんですが、何よりも人と人をおつなぎすることが大事な役割だと思っています。たくさんの方がご利用下さっていますが、気軽にお客様同士がお話しできるように、私からタイミングを見計らってご紹介をすることもあります。

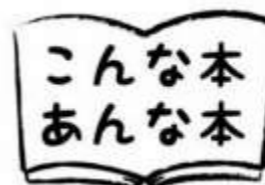
しかし、このようなお仕事に就きながら、こらぼ大森の役割である区民活動支援を私自身が受けることになろうとは9年前の私には予想だにもしませんでした。



こらぼ大森情報交流室Ⅱ 木曜日店長
東京ノルディックウォーキングクラブ 代表
茶木 悦子さん

フィンランド発祥のノルディックウォーキングを以前より取り組んでいたのですが、3年前に、「東京ノルディックウォーキングクラブ」という会を立ち上げました。翌年には、大田区地域力応援基金助成をいただくことができました。自分なりにも努力をしてみましたが、活動を志すきっかけとなったのは、オーガニックファームで自分の思いを言葉にしてからでした。

美味しいコーヒーとハーブティーを心を込めてお淹れしています。ぜひやりたいことや夢を語りにいらして下さい。各曜日店長が心よりお待ちしております。私のように、夢が叶うきっかけになれば、とても嬉しいです。

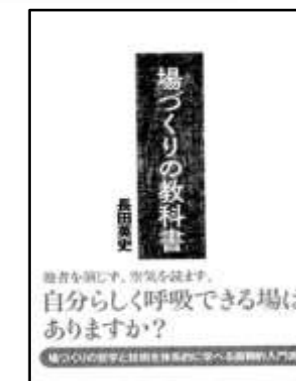


場づくりの教科書

こらぼ大森2F情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します

地域活動、職場、家庭…「場」の最大の魅力は、ほかの誰かと共有できることだと筆者は説きます。そして、賛成や反対といった“考え方”よりも、快か不快かといった“感じ方”をもとにして、「場」は成り立つものだからこそ、それ自体に既成概念を超えた可能性があるかと筆者は分析します。

それを念頭にし、組織の立ち上げの注意点、会議の方法、継続的な場をさらに豊かにする術などの手掛かりや具体的な方法などについて余すことなく、書かれています。非営利活動に長らく携わってきた筆者だからこそその視点が感じられる一冊です。



著者：長田 英史
出版：芸術新聞社